

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島情況雑件 沖縄関係第四卷

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-21 キーワード (Ja): 琉球問題, 台湾訪問, 新聞情報, 祝祭典, 対日要望書, 日本国会参加 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43190

(15)

沖縄
における
自衛隊
員募集
関係

亜世長
記録人

A'3.0.0.7-1A6.1.0.1-2-2

秘

亜世長

他

沖縄における自衛隊員募集に関する件

37-2-5 宇山

1. 本日在京米大使館サタリン書記下は、昨週末より

固執例に報告された本件について、キャラウェイ高等警官

より照会があったこと実情について同合おられた。

2. よって防衛庁人事局と大竹総理府特選局長、さらに久

手堅琉球政府東京事務次長に照会したところ、詰論次の通り

(1) 日本政府としては本件について何等の決定をしてい

ない。よって沖縄の新聞が日本政府から琉球政府

に対して本件について協力依頼した点のよる情報

首を打つのは、事実手帳である。

(2) もつとも、昨年12月初旬及び中旬の2回におき

て、自衛隊東京地方連絡部副部長ニ峯陸佐野上

亮一と三峯海佐速水芳之助が琉球政府東京

事務次を訪問し、自衛隊員募集マスター1部と志

願書内2,3部を同事務次職員に渡し、沖縄の青年

が東京地方に就職した者が、転職を考慮している

場合、自衛隊員となる途があることを知らせられ

いと依頼したところ、その職責が誤ってこれらの書類

を琉球政府に送付したため、沖縄で誤解をま

た可能性がある。当方よりその真を指摘し、この

松本ことを今後しるいように注意したと云、又手堅部長

これ了承し、
は早速那覇にも申送る旨述べた。なお金城

前部長は昨年7月沖縄にソ連製金ワウチンを送付

いたことも独断で厚生省に接触したため(当体未

側では^{すでに}米國製小児マカワウチンを沖縄に送付方手配

済みであった)左様と云ふ経緯があつたこと、上記の

格に注意を促した次第では。

3. 本日午後 当方よりサ書記室に上記⁽¹⁾の次序を位

元、(2)に付しては軽く言及したと云、サ書記室はこれ

を了承し、(2)に付しても下僚のやつたことなる問題に

はしる旨述べた。

寫

A3.6.0.7-1 6.1.0.1-2-2

アジア局長
総務参事官
北東アジア課

那第126号

昭和37年2月6日

総理府特別地域連絡局長 殿

那覇日本政府南方連絡事務所長

「沖縄における自衛隊員の募集」に関する新聞記事について

さる2月3日付沖縄タイムスは、「自衛隊、沖縄で募集」を報じたが(別添記事参照)、その実情は次のとおりであるので、参考までに報告する。

記

1. 行政府当局内話.....昨年本土自衛隊(自衛隊地方連絡部員が琉政東京事務所を来訪したものの如し)からパンフレット等の送付を受けて、自衛隊員の募集につきPR等の協力を依頼されたので、局長会議において審議して、自衛隊員は本土では公務員であるし、また技術修得の方法としても望ましい等の見地から政府として募集に協力する態度を決定し、とりあえず世論の動向をみる

ためのアドバルーンとして、大田内政局長により新聞発表を行ったのである。

2(イ) 以上の新聞発表に対して、2月6日現在、新聞紙上には賛否いずれの記事も見られないが、当地タイムス、新報両紙幹部からは、青少年の思想善導からもむしろ政府が進んで協力すべきであるとの意志表示がなされた趣である。

(ロ) 米民政府当局に^{からは、前記新聞記事に関して琉政当局に問}照合せがあつたのに対し「新聞発表はあの通りであるが、資料は個人的に入手したものである」と答えた趣である。

本信写送付先 外務省アジア局長

37.2.14

314

回覧番号
北 0424

総 理 府

自衛隊 沖縄で募集

応募者多ければ現地試験

陸上および海上自衛隊の募集について、このほど本政府から政府が、正式依頼があった。昨年は防衛二法案が成立のため、陸軍の募集も大規模に行われ、採用されたが、新年度は大規模な募集を予定している。そのための関係筋を通じ、沖縄での募集について琉球政府のあつせんを求めたものである。

自衛隊の募集については、一九五〇年、しかも自衛隊員となれば陸軍の技術を修得することも容易く、訓練を受ける生活も平時で終るから、応募者もたが、行政府から募集の依頼があった。大田内務局長の意向で、近頃は、自衛隊が正式に編制する意向である。大田内務局長の意向で、近頃は、自衛隊が正式に編制する意向である。大田内務局長の意向で、近頃は、自衛隊が正式に編制する意向である。

大田内務局長の意向で、近頃は、自衛隊が正式に編制する意向である。大田内務局長の意向で、近頃は、自衛隊が正式に編制する意向である。大田内務局長の意向で、近頃は、自衛隊が正式に編制する意向である。

現地試験しない

沖縄からの自衛官募集

「東京」防衛庁から琉球政府に対し、地を採用試験を行なうという報道が、司法三権が未だ審判官の権限を認めない、その条件が要らぬというため、この問題は見合はせるとなると、たゞ

「東京」防衛庁から琉球政府に対し、地を採用試験を行なうという報道が、司法三権が未だ審判官の権限を認めない、その条件が要らぬというため、この問題は見合はせるとなると、たゞ

「東京」防衛庁から琉球政府に対し、地を採用試験を行なうという報道が、司法三権が未だ審判官の権限を認めない、その条件が要らぬというため、この問題は見合はせるとなると、たゞ